

野鳥を通して自然を考える



講演会

講師プロフィール 尾崎雄二（おざきゆうじ）氏

宝塚市売布出身。宝塚高校在学中から野鳥を見始め、その後日本野鳥の会普及部員として本格的に活動を開始。奥様の尾崎由紀氏と共に北は北海道から南は与那国島まで日本全国を駆け回り現在まで482種の野鳥を観察している。2015年からは地元の伊丹市昆陽池公園で昆陽池公園野鳥観察グループ「チームK」を奥様と一緒に立ち上げ、自然の一部である「都市公園」の重要性を野鳥というフィルターを通して日々発信している。また、2016年からは伊丹市昆虫館の外部講師、2017年からは兵庫県より自然保護指導員、2020年には環境省より国指定浜甲子園鳥獣保護区の管理員を委嘱され併せて活動している。

と き:10月5日(日)13時～14時半(12時45分開場)

ところ:宝塚市立南口会館 サンビオラ5番館 横断歩道橋から入ってすぐ
最寄り駅:阪急電鉄 宝塚南口駅

講 師:尾崎雄二（おざきゆうじ）氏

内 容:国指定浜甲子園鳥獣保護区の重要性や、昆陽池公園に飛来する野鳥調査を通してどのような変化がみられるのか。最近の気候変動や環境破壊と生物多様性についてみんなで考えましょう。

定 員:先着50名(野鳥や自然環境に興味のある方、どなたでもどうぞ)

主催:宝塚野鳥の会